

Make The Next Quality

—— 未来品質を創造する ——



株式会社 トゥエンティワン ヒガシ21
HIGASHI TWENTY ONE CO.,LTD.

第96期 中間報告書

平成29年4月1日 ▶ 平成29年9月30日

株主の皆様へ



代表取締役社長
金森滋美

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、このたび第96期の第2四半期決算を行い、報告書を作成いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 金森 滋 美

経営基本方針

「安全」と「安心」を大切にして物流事業を通じ社会に奉仕する私たちヒガシ21

経営理念

3つの使命

1. **商品・サービスの使命** …お客様・荷主様の満足する物流サービスを提供し、信頼の向上に努めます。
2. **社会的使命** ……良き企業市民として社会のルールを守り、地域に貢献、環境保全に取り組みます。
3. **経済的使命** ……社会、株主、社員の繁栄を図るため、常に経営基盤の強化・安定を図ってまいります。

事業の経緯及びその成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しの動きが続く中、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移いたしましたが、中国などの新興国経済の停滞懸念及びアジアにおける地政学リスクの顕在化等の影響もあり、依然として先行きは不透明な状況にあります。

物流業界においては、人件費の上昇、価格競争の激化等依然として厳しい状態が続いております。

このような状況の中、当社グループは、新規顧客の積極的な開拓及び既存顧客への深耕拡大に努めるとともに、内部管理体制の一層の充実やコスト削減努力並びに安全対策にも注力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は96億57百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は3億60百万円（同12.0%減）、経常利益は3億46百万円（同18.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億9百万円（同28.1%減）となりました。

セグメントの業績は以下の通りです。

①運送事業

当事業につきましては、売上高は66億90百万円（前年同期比3.8%増）となり、セグメント利益は5億86百万円（同3.9%増）となりました。これは、事務所移転作業が増加したことによるものです。

②倉庫事業

当事業につきましては、売上高は19億54百万円（前年同期比2.6%減）となり、セグメント利益は3億14百万円（同8.7%減）となりました。これは、大口得意先との倉庫賃貸借契約満了に伴う退去により倉庫保管収入が減少したことによるものです。

③商品販売事業

当事業につきましては、売上高3億64百万円（前年同期比25.8%減）となり、セグメント利益は2百万円（同55.4%減）となりました。これは、中古PC販売が減少したことによるものです。

④ウエルフェア事業

当事業につきましては、売上高3億68百万円（前年同期比6.1%増）となり、セグメント損失は5百万円（同143.8%減）となりました。これは、事業拡大の為に採用により人員が増加したことによるものです。

⑤その他事業

当事業につきましては、売上高2億78百万円（前年同期比3.8%減）となり、セグメント利益は17百万円（同3.2%増）となりました。これは、主にビル内デリバリー事業の効率化及び駐車場事業における稼働率の向上等により利益が増加したことによるものです。

経営成績に重要な影響を与える要因

当社グループを取り巻く事業環境は厳しい状況が続いておりますが、本四半期報告書提出日現在において、経営成績に重要な影響を与える要因はありません。

当社グループは、中長期的な経営戦略に基づき、主力事業（運送・倉庫）の営業及び業務の拡大を図るため、事業部制を導入しております。事業部間の情報共有化と各地域との連携を更に強化することで、物流事業の拡大を継続することはもとより、当社グループが持つ物流インフラを整備（業務・資本提携）し、新規荷主の開拓と既存荷主の取引拡大並びに新規事業の開発を行っており、重点市場である首都圏・中部圏での業績拡大に努めております。

経営者の問題意識と今後の方針について

物流業界は、規制緩和が進み業者間の競争が厳しさを増す一方で、荷動きの低迷に直面しており、制度や法律の改正による企業倫理や安全・環境問題への対応等、企業として果たすべき役割や責任が大きくなってきております。

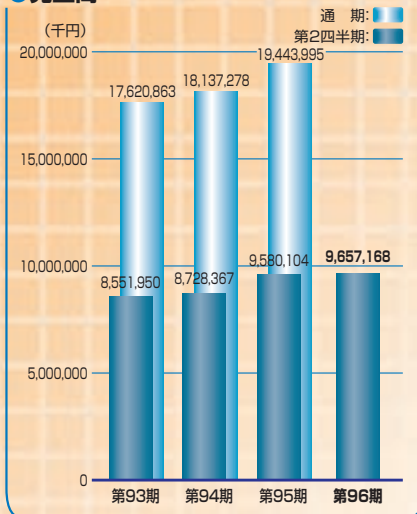
当社グループは「安全」と「安心」を大切に物流事業を通じ社会に奉仕することをスローガンに、①商品・サービスの使命、②社会的使命、③経済的使命の3つの使命を経営理念として株主価値の向上を図り、社会に貢献できる会社を目指しております。

なお、コンプライアンス全体を統括する組織として社長を委員長とする「コンプライアンス・リスク管理委員会」を設置すると共に、「法令遵守マニュアル」を制定しコンプライアンス体制の整備及び問題点の把握に努め、内部管理体制の一層の充実を図ることで主要事業許認可関係に対する法令遵守及び交通安全対策並びに環境問題に積極的に対応する方針であります。

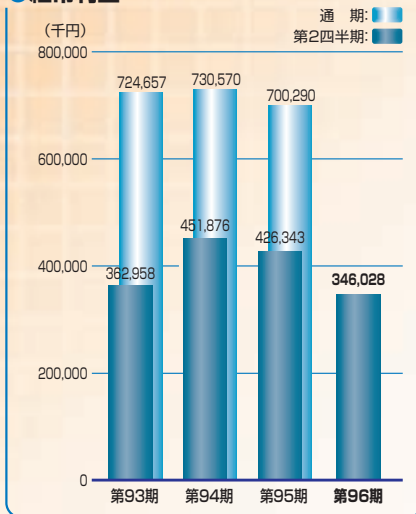
また、財務報告の信頼性を確保するため、「財務報告に係る内部統制の整備・運用及び評価の取り扱い」を定めており、関係規程の整備、役員及び従業員の意識向上、内部監査制度の充実等を図り、財務報告に係る内部統制の有効かつ適切な運用・管理に努めております。

決算ハイライト

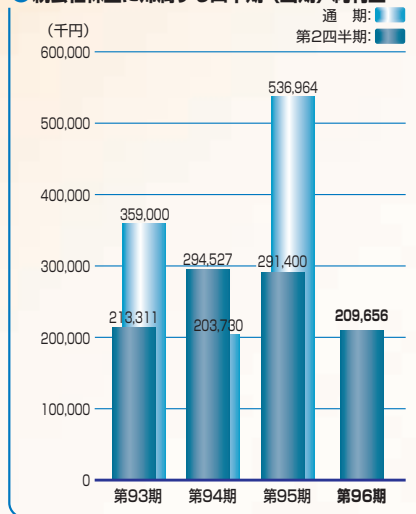
●売上高



●経常利益

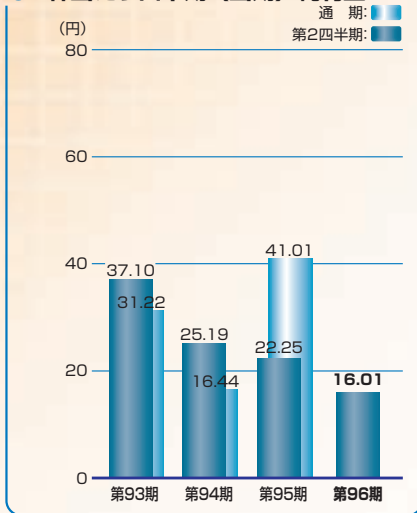


●親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

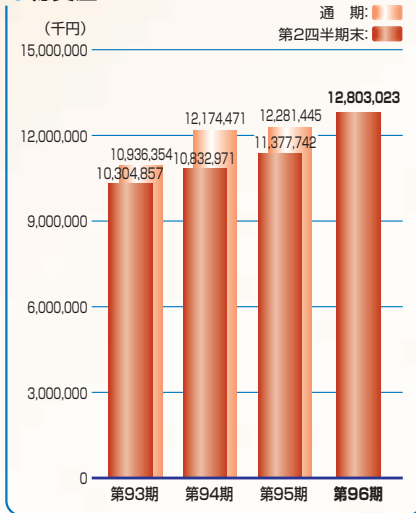


※なお、第94期第2四半期以前は、四半期(当期)純利益の数値を掲載しております。

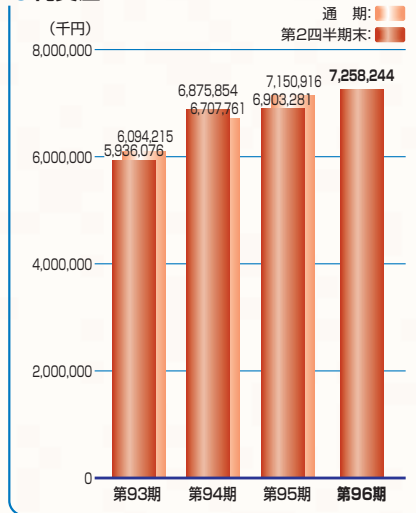
●1株当たり四半期(当期)純利益



●総資産



●純資産



※平成27年3月1日付で、1株当たり2株の割合で株式分割を行っております。

(注) 1.千円単位の記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
2.当社は第94期期末より連結財務諸表を作成しております。第94期第2四半期以前の数値に関しては、ご参考までに、個別財務諸表の数値を掲載しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要約)

(単位：千円)

科目	当第2四半期末 (平成29年9月30日現在)	前第2四半期末 (平成28年9月30日現在)	前期 (平成29年3月31日現在)
資産の部			
流動資産	6,001,175	4,927,266	5,885,985
固定資産	6,801,848	6,450,476	6,395,459
有形固定資産	5,224,685	5,288,711	5,217,779
無形固定資産	470,400	112,131	120,927
投資その他の資産	1,106,763	1,049,632	1,056,753
資産合計	12,803,023	11,377,742	12,281,445
負債の部			
流動負債	3,394,917	3,485,228	3,829,572
固定負債	2,149,862	989,232	1,300,956
負債合計	5,544,779	4,474,460	5,130,529
純資産の部			
株主資本	7,281,690	6,937,771	7,183,334
その他の包括利益 累計額	△23,446	△34,489	△32,418
非支配株主持分	—	—	—
純資産合計	7,258,244	6,903,281	7,150,916
負債純資産合計	12,803,023	11,377,742	12,281,445

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (要約)

(単位：千円)

科目	当第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	前第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
売上高	9,657,168	9,580,104	19,443,995
売上原価	7,825,389	7,800,679	15,920,879
売上総利益	1,831,779	1,779,424	3,523,115
販売費及び一般管理費	1,471,080	1,369,665	2,852,822
営業利益	360,699	409,759	670,293
営業外収益	27,451	27,858	52,636
営業外費用	42,122	11,274	22,640
経常利益	346,028	426,343	700,290
特別利益	—	4,710	64,598
特別損失	—	232	14,697
税金等調整前四半期 (当期)純利益	346,028	430,821	750,191
法人税等	136,372	139,420	213,227
四半期(当期)純利益	209,656	291,400	536,964
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	—	—	—
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	209,656	291,400	536,964

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位：千円)

科目	当第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	前第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	405,137	398,161	724,577
投資活動による キャッシュ・フロー	△535,655	△111,809	△187,272
財務活動による キャッシュ・フロー	539,937	△225,004	△331,425
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	409,419	61,347	205,879
現金及び現金同等物の 期首残高	2,289,979	2,084,099	2,084,099
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	2,699,399	2,145,447	2,289,979

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表

貸借対照表 (要約)

(単位：千円)

科 目	当第2四半期末 (平成29年9月30日現在)	前第2四半期末 (平成28年9月30日現在)	前期 (平成29年3月31日現在)
資産の部			
流動資産	5,437,154	4,724,027	5,546,184
固定資産	7,154,790	6,556,218	6,587,904
有形固定資産	5,171,509	5,175,370	5,197,190
無形固定資産	119,441	112,131	120,927
投資その他の資産	1,863,840	1,268,715	1,269,786
資産合計	12,591,945	11,280,245	12,134,088
負債の部			
流動負債	3,306,224	3,432,580	3,744,783
固定負債	1,975,545	879,574	1,210,122
負債合計	5,281,769	4,312,154	4,954,905
純資産の部			
株主資本	7,265,967	6,939,893	7,134,565
評価・換算差額等	44,207	28,197	44,616
純資産合計	7,310,175	6,968,090	7,179,182
負債純資産合計	12,591,945	11,280,245	12,134,088

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書 (要約)

(単位：千円)

科 目	当第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	前第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
売上高	9,467,150	9,330,390	18,973,075
売上原価	7,674,364	7,588,649	15,518,991
売上総利益	1,792,786	1,741,741	3,454,083
販売費及び一般管理費	1,428,757	1,335,186	2,774,548
営業利益	364,028	406,554	679,534
営業外収益	27,810	26,484	50,640
営業外費用	12,940	9,282	20,479
経常利益	378,899	423,756	709,696
特別利益	—	4,710	4,710
特別損失	—	232	11,782
税引前四半期(当期)純利益	378,899	428,233	702,623
法人税等	136,196	139,243	218,960
四半期(当期)純利益	242,702	288,990	483,663

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

(平成29年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	13,094,194株 (自己株式506株を除く。)
株主数	2,853名 (自己名義株主1名除く。)

配当の状況

●中間配当	行っておりません。
●期末配当	1株8.5円(予定)

*現在、配当の決定は通期の業績を踏まえて実施しているため、年1回の期末配当としております。

会社概要

会社概要

社名	株式会社ヒガシトゥエンティワン HIGASHI TWENTY ONE CO.,LTD.
設立	昭和19年12月
本社	大阪市中央区久宝寺町三丁目1番9号 〒540-0013 TEL06 (6945) 5611 (代) ●ホームページアドレス http://www.e-higashi.co.jp
資本金	9億2,701万円
従業員	連結従業員数 651名 (単体従業員数 540名)
主な営業種目	●貨物の運送並びに貨物運送取扱事業 一般貨物自動車運送事業 貨物利用運送事業 貨物軽自動車運送事業 ●倉庫業 ●重量物の組立て及び据付、運送 ●駐車場経営 ●日本郵政株式会社関連業務 ●IT関連事業 ●産業廃棄物収集運搬 ●福祉用具レンタル及び販売事業
グループ会社	株式会社イシカワコーポレーション ユートランスシステム株式会社
関連会社	株式会社ワールドコーポレーション

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
関西電力株式会社	1,800	13.74
日本生命保険相互会社	1,040	7.94
星光ビル管理株式会社	938	7.16
株式会社毎日新聞社	700	5.34
東京センチュリー株式会社	540	4.12
ヒガシトゥエンティワン従業員持株会	524	4.00
株式会社みずほ銀行	520	3.97
株式会社西日本シティ銀行	520	3.97
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OMO2 505002	370	2.82
株式会社三菱東京UFJ銀行	364	2.77

(注) 持株数は、千株未満を切り捨て、持株比率は小数点第2位を四捨五入して表示しております。

取締役及び監査役 (平成29年10月1日現在)

代表取締役社長	金森 滋美
取締役専務執行役員	平野 尚
取締役専務執行役員	福島 伸行
取締役常務執行役員	畠 秀一
取締役(社外取締役)	加藤 弘之
取締役(社外取締役)	江上 雅彦
常勤監査役	佐々田 剛
監査役(社外監査役)	向井 利明
監査役(社外監査役)	齊藤 善也

執行役員 (平成29年10月1日現在)

常務執行役員	西村 元伸
常務執行役員	横谷 哲郎
上席執行役員	岡村 敏彦
執行役員	大西 雅春
執行役員	田口 宗勝
執行役員	山田 寛

*取締役を兼務している執行役員については、除いております。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日
3月31日
中間配当金受領株主確定日
9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
Tel.0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部
公 告 の 方 法 電子公告により行う。
公告掲載URL <http://www.e-higashi.co.jp>
(ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じたときは、毎日
新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当社は、平成18年5月25日付で、プライバシーマーク付与に関する認定を受けました。



当社は、7営業所で安全性優良事業所として認定を受けております。Gマークは優良事業所のみ与えられる「安全」・「安心」・「信頼」の証です。

トクエンティワン

株式会社ヒガシ21

■ 株主ご優待制度のお知らせ ■

当社では、株主の皆様からの日頃のご厚情に感謝の意を込めて、毎年9月30日現在の株主の皆様に対し、年1回、下記の基準により株主優待を実施いたします。

贈呈基準 所有株式数500株（5単元）以上保有の株主の皆様

優待内容 500株以上1,000株未満は1,000円、1,000株以上2,000株未満は2,000円、2,000株以上は4,000円相当のクオカードを贈呈。また、500株以上を1年以上継続保有（毎年9月末日の株主名簿に同一の株主番号で2回以上連続して記載された株主様を対象）いただいている場合、1,000円相当のクオカードを合わせて贈呈。

贈呈時期 毎年11月下旬から12月初旬頃の発送を予定。

■ ホームページのご案内 ■

当社をよりご理解いただくためにも、是非ご覧ください。

ヒガシ21

検索

<http://www.e-higashi.co.jp>



この報告書は、環境に配慮し、植物油インキを使用しております。